

日本WHO協会とは

公益社団法人日本WHO協会は、世界保健機関（WHO）憲章の精神を普及徹底し、その目的達成に協力し、我が国及び海外諸国の人々の健康増進に寄与することを目的として設立された団体です。設立より半世紀近く、関西を拠点にグローバルな視野から国内外の人々の健康を考え、行動しており、今後も積極的に目的達成のため活動していきます。

- (1) WHO 憲章精神を普及するための健康に関するセミナー等の開催及び機関誌・広報等の啓発事業
- (2) 健康に関する調査研究の受託・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業
- (3) 国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業
- (4) WHO の事業目的達成に寄与するための募金活動及び募金収益の拠出並びに活動協力等の支援事業
- (5) 国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業

CONTENT

ごあいさつ	1
沿革	2
WHO憲章	3
●日本 WHO 協会フォーラム「うつ病 ～一緒に話そう～」開催報告	4
開会の挨拶	関 淳一
「世界と日本と自分のうつ病」	杉浦寛奈
●特別寄稿 新型タバコ	
「新型タバコにどのように対応するべきか」	大島 明 19
●特別寄稿 アルマアタ宣言から 40 年	
「プライマリヘルスケア-アルマアタ宣言から 40 周年を迎えて」	中村 安秀 23
●第 7 回 jaih-s との共催企画フォーラム 開催報告	27
開会の挨拶	関 淳一・鈴木野々香
「UHC とは？～上からのアプローチ～」	渡辺 学
「草の根活動から考える UHC」	本田 徹